

2024年3月期（第14期） 第2四半期決算説明資料

2023.10.25

テクノホライゾン株式会社
代表取締役社長 野村拡張



テクノホライゾン株式会社

目次

1. 2024年3月期（第14期） 第2四半期決算概要
2. 2024年3月期（第14期） 通期業績予想
3. トピックス

1. 2024年3月期（第14期） 第2四半期決算概要

(1) 2024年3月期 損益サマリー

単位：百万円

	2023年 3月期 第2四半期	2024年 3月期 第2四半期	増減	増減率
売上高	19,017	23,286	+4,269	22.4%
映像&IT	15,268	19,217	+3,949	25.9%
ロボティクス	3,748	4,068	+319	8.5%
営業利益	△ 664	161	+825	—
経常利益	△ 304	680	+985	—
親会社株主に 帰属する 当期純利益	△ 454	293	+747	—

前年度実績比
増収増益

増収要因：

- ・主に連結範囲の拡大が寄与
- ・「映像&IT」「ロボティクス」とともに増収

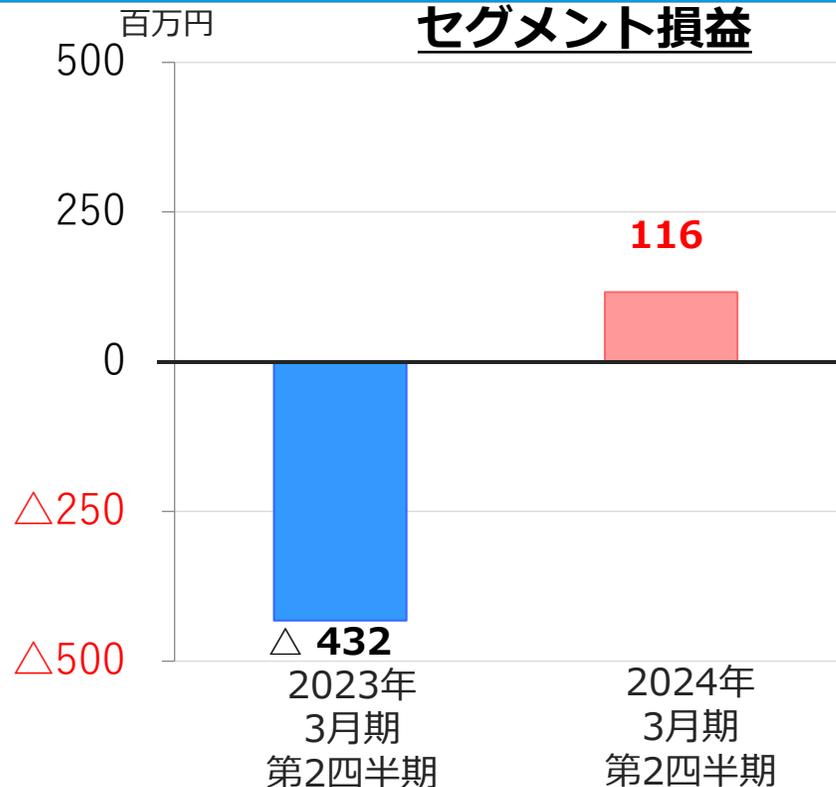
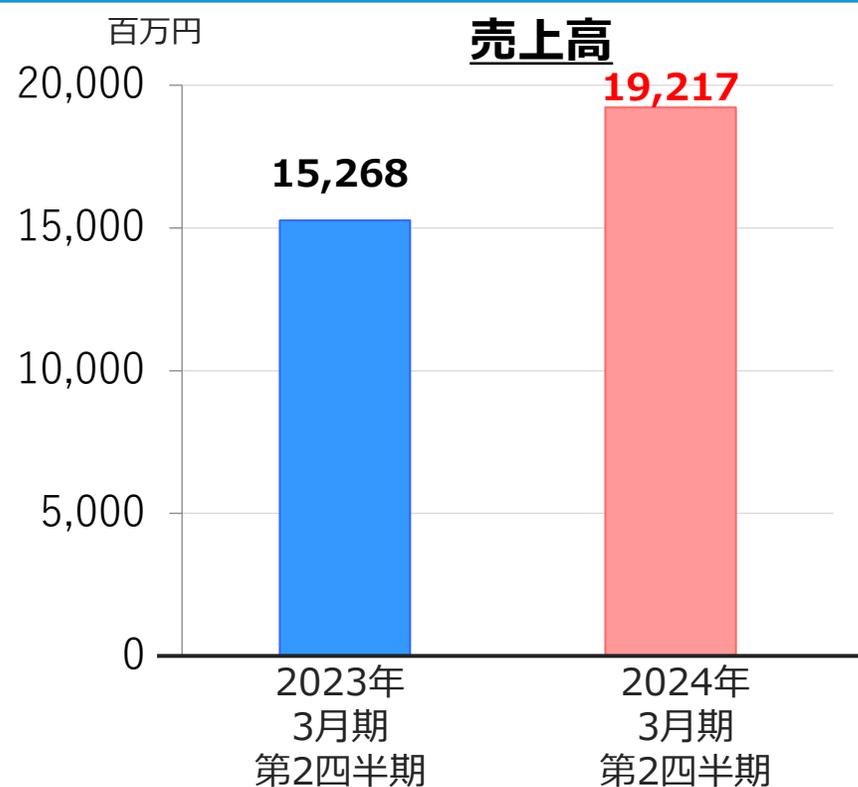
増益要因：

- ・売上の増加
- ・販管費の減少

その他：

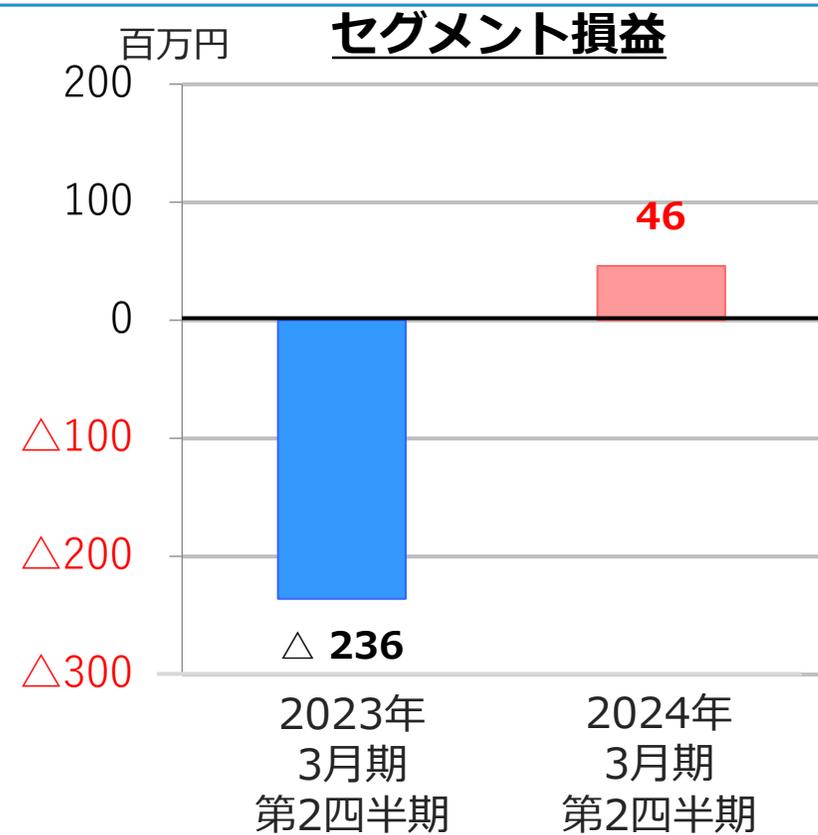
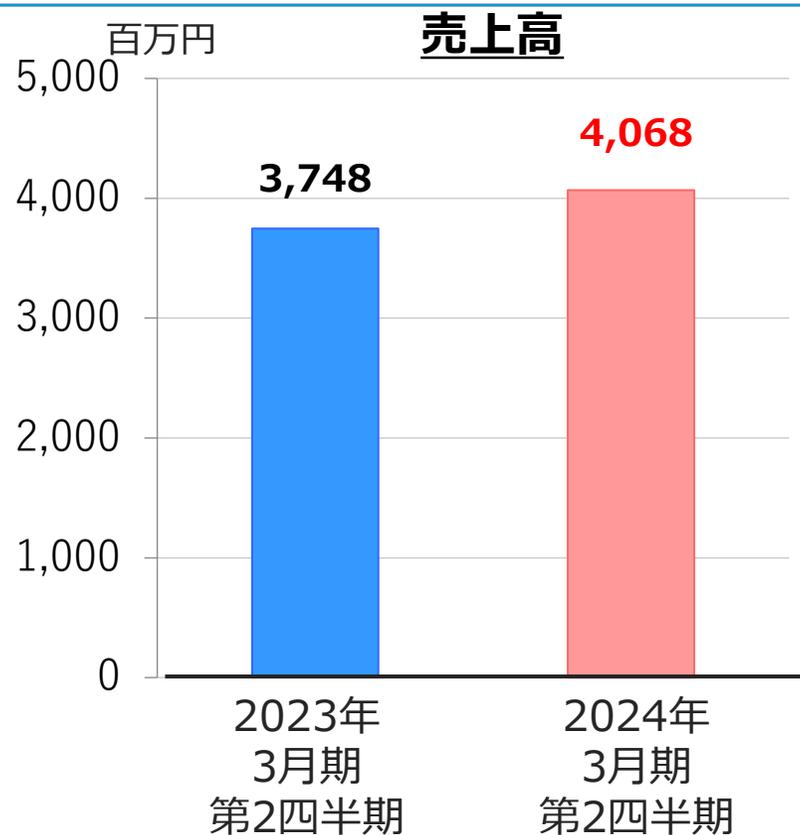
- ・営業外収益481百万円(為替差益)
- ・特別損失 201百万円(製品保証引金)

(2) 映像 & IT 事業セグメントの損益



- ・ 教育市場（電子黒板、書画カメラ等）：①国内 ICT機器の導入が想定より進まず
②欧米 アメリカで計画を下回るも、ヨーロッパは経費削減が進展
- ・ 車載事業：半導体関連部品の調達難の影響が緩和し納品遅延が解消傾向
- ・ サイバーセキュリティ事業：東南アジア/企業や政府関連施設の大口受注があり、売上高大幅増加。
- ・ 円安による原材料費上昇の影響は未だあるものの連結範囲の拡大や管理費用削減によりセグメント利益が黒字化

(3) ロボティクス事業セグメントの損益



- ・ FA事業関連機器：①国内 労働力不足による工場の省略化ニーズは堅調
②中国 設備投資意欲の後退の影響
- ・ 部品入手難の影響はあるものの連結範囲の拡大や管理費用削減によりセグメント利益が増加

(4) 2024年3月期 連結貸借対照表

単位：百万円

科目	2023年 3月期	2024年 3月期 第2四半期	増減
流動資産	27,386	27,156	△ 229
固定資産	9,516	9,575	+ 58
資産合計	36,903	36,732	△ 170
流動負債	22,758	22,247	△ 510
固定負債	5,433	5,230	△ 203
負債合計	28,192	27,478	△ 713
株主資本	7,177	7,381	+ 204
その他の包括利益合計額	1,527	1,806	+ 278
純資産合計	8,711	9,254	+ 542
負債純資産合計	36,903	36,732	△ 170
自己資本比率	23.6%	25.0%	1.4pt

流動資産

- ・受取手形及び売掛金 : △942百万円
- ・電子記録債権 : △265百万円
- ・在庫 : +1,145百万円

固定資産

- ・投資その他の資産 : △423百万円

流動負債

- ・支払手形及び買掛金 : △1,215百万円
- ・短期借入金 : +116百万円

固定負債

- ・長期借入金 : △294百万円

純資産

- ・利益剰余金 : +235百万円
- ・為替換算調整勘定 : +280百万円

2. 2024年3月期（第14期）通期業績予想

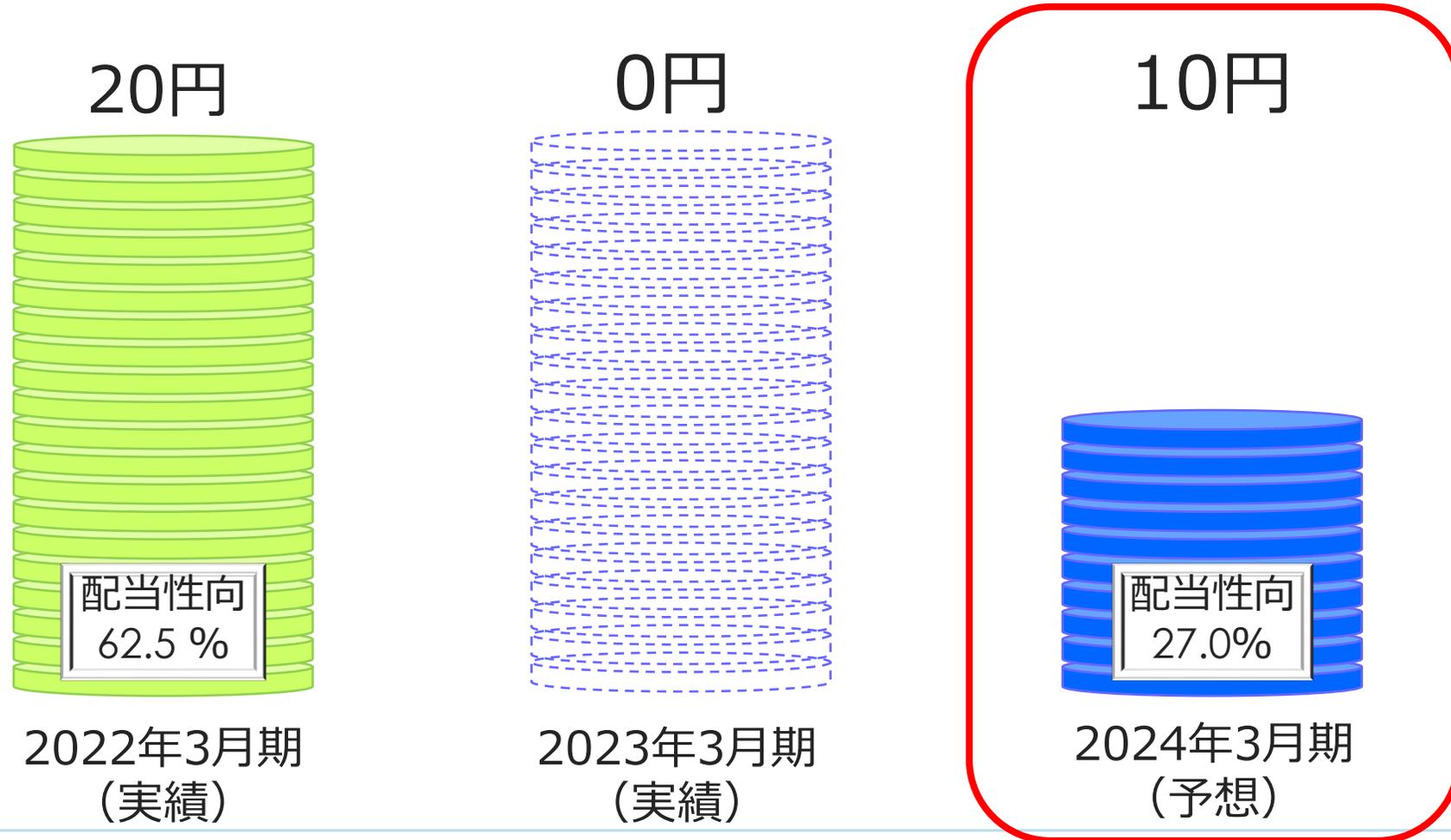
(1) 2024年3月期 業績予想 (前期比較)

単位：百万円

	2023年 3月期 実績	2024年 3月期 予想	増減	増減率	前年度実績比 增收増益
売上高	43,765	48,000	4,234	9.7%	<u>增收要因</u> ・ 連結範囲の拡大 ・ 既存事業の底上げ
営業利益	△ 530	800	1,330	—	
経常利益	△ 405	600	1,005	—	
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	△ 1,553	500	2,053	—	<u>増益要因</u> ・ 連結範囲の拡大 ・ 経費の削減

(2) 2024年3月期 配当予想

業績回復を見込むことから、10円の復配を予想



3. トピックス

(1) テクノホライゾングループが創るスマートDXの世界

Techno Horizon Unicity

街に暮らす人々が効率よく快適に暮らし働ける場所に変えていきます

- ✓ 建物を造り直す、街を再開発するわけではありません。
- ✓ 保有する技術、これから生み出す技術でスマート化された暮らしを創造していきます。



(2) テクノホライゾングループが目指す明るい社会

学校・教育

- ★ 誰もがどこからでも質の高い教育を受けられる新しい学びの場を提供
- ★ データとテクノロジーで最適な指導のアドバイス、働き方改革実現

オフィス

- ★ 経営者、従業員の創造力、マネジメント力の最大化ソリューション提供
- ★ 効率（生産性）の向上

店舗・住宅

- ★ 店舗/交通/オフィス/工場などのあらゆる生活シーンを映像とITで「街=CITY」を繋ぐ
- ★ 建設/施工-店舗運営-セキュリティ-サポートのDX化実現

交通

- ★ 安心安全な運行、事故削減、マナー改善に貢献
- ★ 交通機関を利用する人やモノの移動に生じるリスクを軽減

医療・介護施設

- ★ 映像・センシング技術による介護現場のDX化
- ★ 映像技術を応用した先端医療機器の開発

工場

- ★ 様々な制御技術、光学技術、IT技術でスマートファクトリー化に貢献
- ★ 成形市場・基板実装市場をリード
- ★ 自動化困難な目視検査の自動化



(3) 認知度アップ：展示会等への出展

年間を通じて国内外75超の展示会等に出展予定



今年もプライベート展示会を開催しました。
ご来場誠にありがとうございました。



-----来期開催情報-----

テクノホライゾン ソリューションEXPO 2024 in 横浜

会期：2024年11月6日（水）・7日（木）

会場：パシフィコ横浜 展示ホールD

(4) グローバル化を加速

国内46拠点
海外44拠点

多様性に満ちた人材で
グローバルなニーズに応える

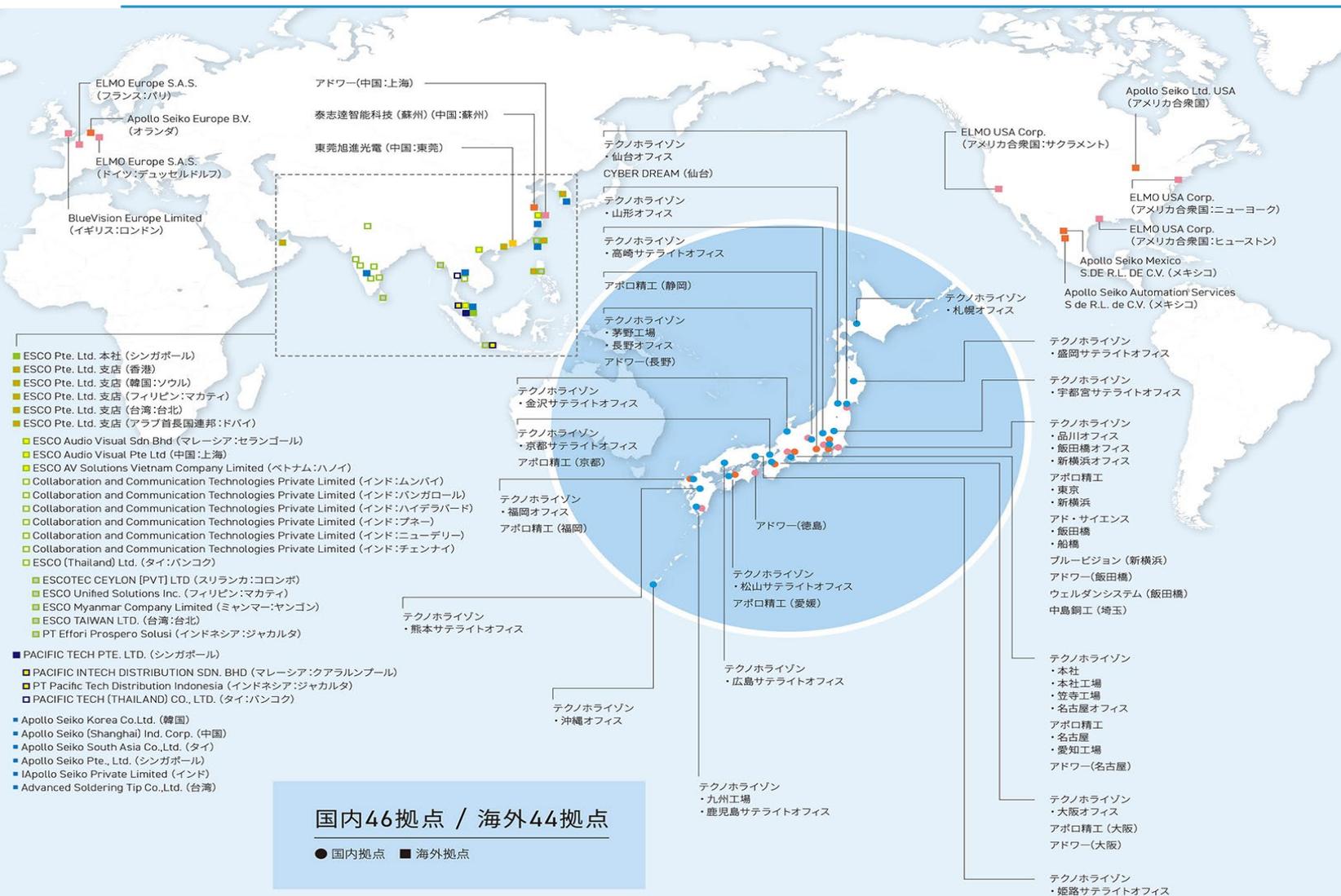


課題感

- ✧ 人材確保・育成
- ✧ コーポレート・ガバナンス

国内46拠点 / 海外44拠点

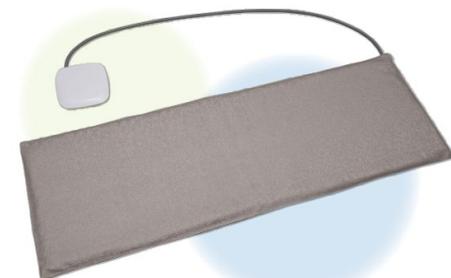
● 国内拠点 ■ 海外拠点



(5) 製品・サービス情報

マット型センサー「睡眠見守りシステム みまもり〜ふ」

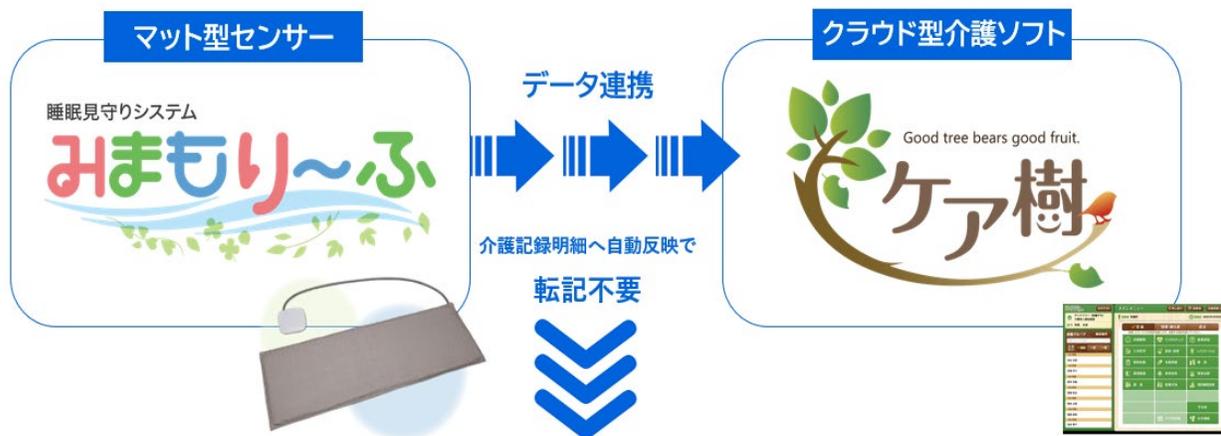
- 心拍や呼吸など生体情報に加え、起床・離床、要介護者の覚醒状態や睡眠状態を検知しモニターからリアルタイムで知ることが出来るサービス



マット型センサー「睡眠見守りシステム みまもり〜ふ」

データ連携の開始①

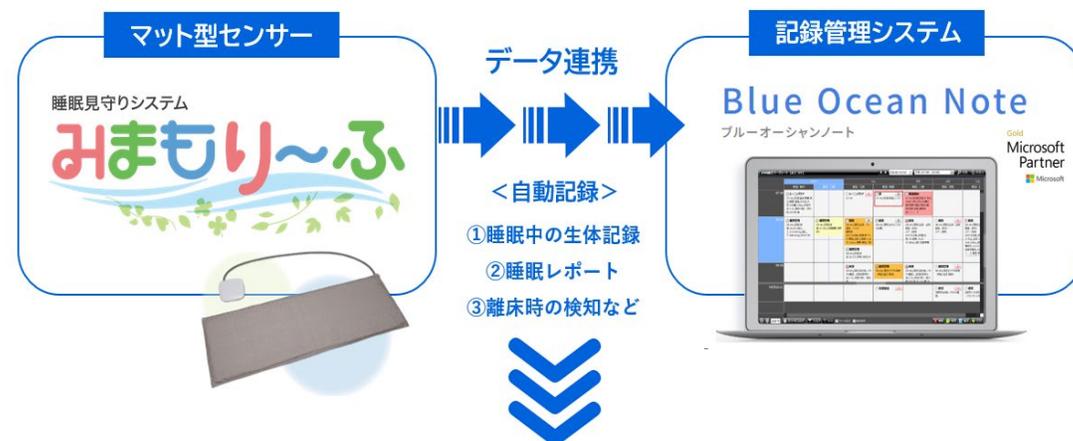
株式会社グッドツリー（本社：宮城県仙台市、代表取締役：西原 翼）が提供中の「クラウド型介護ソフト ケア樹」との間で、データ連携を開始



介護医療現場の効率化やサービス品質の向上

データ連携の開始②

株式会社ブルーオーシャンシステム（本社：静岡県静岡市葵区、代表取締役 寺岡 正人）が提供中の「記録管理システム ブルーオーシャンノート」との間でデータ連携を開始



睡眠データの自動連携で、総合的なケアの提供、介護サービスの質の向上へ

(5) 製品・サービス情報

セレクトティブフローはんだ付け装置 「AF iN4050 Z3-J」

- ▶ プリフラックス、プリヒート、はんだ付けの3工程からなるモジュールタイプのインフラ装置で、はんだ付けモジュールを追加連結し複数台を同時に運用することが可能。

《改良点》

- ✓ PC/PLC仕様となり、管理・制御の役割に分けることで動作安定性と信頼性が向上
- ✓ SIMとルーターの搭載により、迅速にオンラインでバージョンアップが可能

《主な特長》

- ✓ 6.5kgの小型はんだ槽を採用
(装置の立ち上がり時間を短縮しドロスの発生量を抑制)
- ✓ ノズルの掃除を自動化
- ✓ フロー高さ自動管理機能
- ✓ 位置決め補正カメラ
(はんだ付け時のワークの位置ズレを検知補正します)



セレクトティブフローはんだ付け装置「AF iN4050 Z3-J」

NAKAJIMA (6) M&A : 中島銅工株式会社

液化ガス式コードレス熱工具及び半田ごてチップの製造・販売

- ◆ 埼玉県ふじみ野市を拠点としてFA市場を中心に展開
- ◆ 多くの半田ごてメーカーのチップとして、様々な生産ラインで使用されており、自動はんだ付けロボット用の特注チップも製造



期待されるシナジー

- ✓ 半田ごてチップの高い製造力による品質やコスト競争力の改善
- ✓ グローバルな基盤実装業界を中心とした双方の商流活用による事業の拡大
- ✓ ガス式半田ごての技術を応用したガス触媒燃焼方式によるさまざまな製品開発

(7) 2024年3月期の業績に影響する主な不確定要素

- ① 部品・商材の納期遅延
- ② 半導体価格上昇
- ③ 資源価格高騰や円安による半導体価格が上昇
- ④ 受注の減少リスク

(対策)

- ① 購買の最適化等を通じて生産性の向上
- ②③ 販売価格の適正化
- ④ 最適な営業体制の構築

将来見通しに関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保障を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

I R担当窓口

- 役職： 取締役
- 氏名： 加藤 靖博
- 電話： 052-823-8551
- FAX： 052-823-8560
- E-mail： info@th-grp.jp

グループ社是

風に向かう

やすらぎを誘う木陰のさわやかな風
嵐が近づきサーフィンには持ってこいの大波
上昇気流に乗り優雅に舞う蝶
アゲンストにも果敢に攻めるショートホール

無難なんて言葉は無い
状況は刻々と変化している

平等に与えられたチャンス
授かった希望
未来へ羽ばたく風をつかめ

TECHNO HORIZON

IMAGING & IT × ROBOTICS

ELMO

TIETECH

APOLLO
APOLLO SEIKO

TECHNO HORIZON GROUP

ADS

BlueVision

ESCO
EXCELLENCE DELIVERED

Pacific Tech

APOLLO
APOLLO SEIKO

Adwaa

CYBER DREAM

Welldone
system

NAKAJIMA